

ふれあい記録

実施日：令和2年10月16日(金)

当番者名：宮原宏至、江口正彦

(独自コース 85 番) (通し番号 第 162 回)

コース名：関東ふれあいの道 「神奈川県コース 2 番 油壺・入江のみち」

天 候：曇りのち晴れ

3 番 荒崎・潮騒のみち」

参加者名：相川 勲、岩崎 宗郷、江口 正彦、斧原良一、小俣 悦男、神谷 順子、熊谷 信雄、柴崎 幸治、新海 昭、鶴岡 重典、西村 寿文、船橋 エイ子、細矢 清志、堀井 克子、宮原 宏至、山腰 策次郎

<ビジター>林 洋、山奥 利光

計 18 名 (内、男性 15 名 女性 3 名) (五十音順)

交通：集合 京急三崎口駅 改札口 8 時 00 分

往 路：京急横浜駅 6:59 発⇒上大岡駅 7:08 発⇒金沢文庫駅 7:16 発⇒7:54 着 三崎口駅

コース：コース時間 約 4 時間 距離 約 11 km

①三崎口駅 8:03 発⇒[京急バス]⇒8:25 着三崎港バス停 8:35 発[歩 Start]→歌舞島公園 8:46 発→9:15 着 諸磯湾→9:20 着油壺ヨットハーバー入口(撮影 P.)→京急油壺バス停 9:45 発⇒[京急バス]⇒9:58 着 三崎口駅

②三崎口駅 10:10 発⇒[京急バス]⇒10:18 着 矢作入口バス停[歩 Start]→10:30 着 円徳寺→10:38 着 和田長浜海岸→11:10 着 佃嵐崎→12:07 着 荒崎の弁天島(撮影 P.)→12:20 着 荒崎公園 13:00 発→13:07 着 城山展望台→13:18 着 荒崎バス停→13:47 着 長井漁港→14:15 着 富浦公園(コーヒータム)→[歩 Goal]高等工科大学前バス停 14:46 発⇒[京急バス]⇒14:58 着 三崎口駅 (解散)

復 路：三崎口駅 15:06⇒15:37 着金沢文庫駅

みどころ：

2 番油壺・入り江のみち：三浦海外町のランプ構造。諸磯湾からのヨット越しの富士山。油壺ヨットハーバー(油壺湾入口・撮影ポイント)

3 番荒崎・潮騒のみち：和田長浜海岸からの富士山、佃嵐崎からの荒崎海岸と青い海原が広がる相模湾が一望できた。荒崎海岸からの弁天島(撮影ポイント)とソレイユの丘。浸食でできた十文字洞。満潮時には奥まで海水が入るとどんどんびき。城山展望台からの伊豆半島と富士山は素晴らしかった。

自然観察：

① 堆積したときの波の跡が地層に記録されたものといわれている二町谷の『漣痕 (れんこん)』

② 荒崎海岸は、数千年前、まだ三浦半島が海底にあった頃に堆積した白い頁岩と凝灰岩の2種類の岩石の層で形成されている。風や波、地殻変動などのほかに、水分を吸収し膨張伸縮しやすい岩と、水分を吸収しにくい凝灰岩との岩石の性質差などの要因により、長い時間をかけて変化し、凹凸とある斜めの地形の海岸美となった。

特記事項：

① 実施日、予備日の予報が悪く再予備日も設定したが、予備日 16 日は一転し曇りのち晴れとなり海岸線のハイキング日和となりました。

② 栗谷浜漁港を抜けて、荒崎海岸に抜ける階段は、今年末までに通行禁止となり、来年からは佃嵐崎手前からソレイユの丘を抜けて荒崎公園に行くようになるので残念です。